

第1回 社団法人商業施設技術者・団体連合会コンペ

# 主張する「みせ」デザインコンテスト 入賞作品集



**「商」**という文字は古来中国では交換の媒介をなす業務、または従事する人を表わすものとして用いられ本来は国号（都は殷）であった。

商業の行為は昔からあまり変化していないが、現在では変動的な部分が多く社会変化の象徴にもなっている。ふと思いをめぐらし感じるの、いつの時か、どこかに何か忘れ物をしてきたような、あるいはその社会にフィットしていないかもしれない情報、言葉、ファッション、技術、音楽などの多層化した不安。そこで我々はそこに住む人々の生活や歴史、いろいろなものが作られた大地、光、風、かおりなどなど。いつの間にか忘れかけている懐かしい何か。日常生活の流れに埋もれているモノやコト。時代の中に根付き自己の持つイメージをアピールできる、そんなみせ・・・・・・・・



## 主催

社団法人商業施設技術者・団体連合会

## 後援

日本経済新聞社  
全国商環境設計装備協同組合  
協同組合日本店装チェーン  
社団法人日本ディスプレイ業団体連合会  
日本マネキンディスプレイ商工組合  
社団法人日本商環境設計家協会  
社団法人日本ディスプレイデザイン協会  
日本インテリア設計家協会  
社団法人北海道商業施設技術協会

## 協賛

株式会社総合プランニングセンター  
東陶機器株式会社  
スガツネ工業株式会社  
日軽アーバンビルド株式会社  
株式会社ニップコーポレーション  
株式会社純光社  
株式会社拓装

賞	最優秀賞 1点 20万円、賞状 優秀賞 5点 5万円、賞状 入選 5点 記念品、賞状 (但し審査の結果、該当作品がない場合は、これによ りません。)	作品の返却	応募作品は審査後、着払いにて返却いたします。 ※なるべく発送業者を指定し、その着払い伝票を応募 の際に同封していただくと助かります。 なお、入賞作品については展示会後の返却となりま す。
参加費	無料	審査結果	平成 16 年 2 月 5 日頃 応募者(代表者)宛に文書にて受賞者のみに通知 併せて、本会ホームページ上、業界媒体誌にて発表 予定
審査委員	柘植喜治(千葉大学工学部助教授) 小坂 竜(乃村工藝社デザインディレクター) 豊口 協(商施連会長・長岡造形大学学長)  実行委員 斉藤武行(竹中工務店) 松本弘志(コウデザインスタジオ代表) 石渡強治(トランスレイト代表) 立原俊郎(トークン意匠工房代表)	著作権な ど	受賞作品に関しての著作権は受賞者に帰属し、本会 は本会発行の書籍・書類等についての版權を有する ものとします。
応募資格	学生(大学院生、大学生、短大生、専門学校生) 個人・共同制作、いずれも可	受賞者の 表彰式	平成 16 年 3 月 2 日
作品応募 受付期間	平成 15 年 12 月 1 日(月)受付開始 平成 16 年 1 月 20 日(火)必着締め切り	受賞作品 の展示	平成 16 年 3 月 2~5 日 JAPAN SHOP(店舗総合見本 市)／東京ビッグサイト ○ご希望の方へは、入場招待券を差し上げます。 ○同展示会ホームページ <a href="http://www.japan-shop.jp/">http://www.japan-shop.jp/</a>
応募作品 の形式・ 応募方法	あなたが思う、“主張する「みせ」”を自由な表現に て 『A1 サイズステレンボード』 『模型』  に、主旨(コンセプト)を添えて応募して下さい。 ・A1 サイズステレンボード……(594×840mm)1 枚に まとめる(平面図、パース(CG)など自由にレイ アウトして下さい。) ・模型……宅配便可能サイズ(3 辺合計 1600mm)以 内のもの ・主旨(コンセプト)書……A4 サイズ用紙 1 枚に 400 字程度の主旨をまとめください。 ワープロ・手書き、よこ書き・たて書きなど、 体裁は自由  作品受付期間中に、作品を下記の要領でお送りくだ さい。 ・A1 サイズステレンボードで応募される場合は、 ポートの裏面に、別紙出品票を貼り付け、応募用 紙、主旨書を同封の上、お送りください。 ・模型で応募される場合は、模型上の判りやすいと ころに、別紙出品票を貼り、応募用紙、主旨書を 同封の上、お送りください。  送付方法は、郵送、宅配便いずれでも構いません。 (※破損等には充分気をつけてください。)	その他	・応募に関する諸経費はすべて応募者の負担になり ます。 ・応募作品に模倣、その他が生じた場合は受賞を取 り消すことがあります。
		主 催 問合せ先 送付先	社団法人商業施設技術者・団体連合会 コンペ事務局 東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号 建築会館 〒108-0014 TEL:03-3453-8103 FAX:03-3453-8109 E・メール: <a href="mailto:ssr@jtocs.or.jp">ssr@jtocs.or.jp</a>
		後 援	日本経済新聞社 全国商環境設計装備協同組合 協同組合日本店装チェーン 社団法人日本ディスプレイ業団体連合会 日本マネキンディスプレイ商工組合 社団法人日本商環境設計家協会 社団法人日本ディスプレイデザイン協会 日本インテリア設計家協会 社団法人北海道商業施設技術協会
		協 賛	株式会社総合プランニングセンター 東陶機器株式会社 スガツネ工業株式会社 日軽アーバンビルド株式会社 株式会社ニップコーポレーション 株式会社純光社 株式会社拓装

時は流れ、時代は変わっていく。時代が創りあげる街並みも大きく姿を変えてゆく。

若者が街を歩き、若者が空気を動かす。

'60年代までの工業社会の街と店から'70年代の情報社会の街と店は、本質的な面からその機能を変えた。

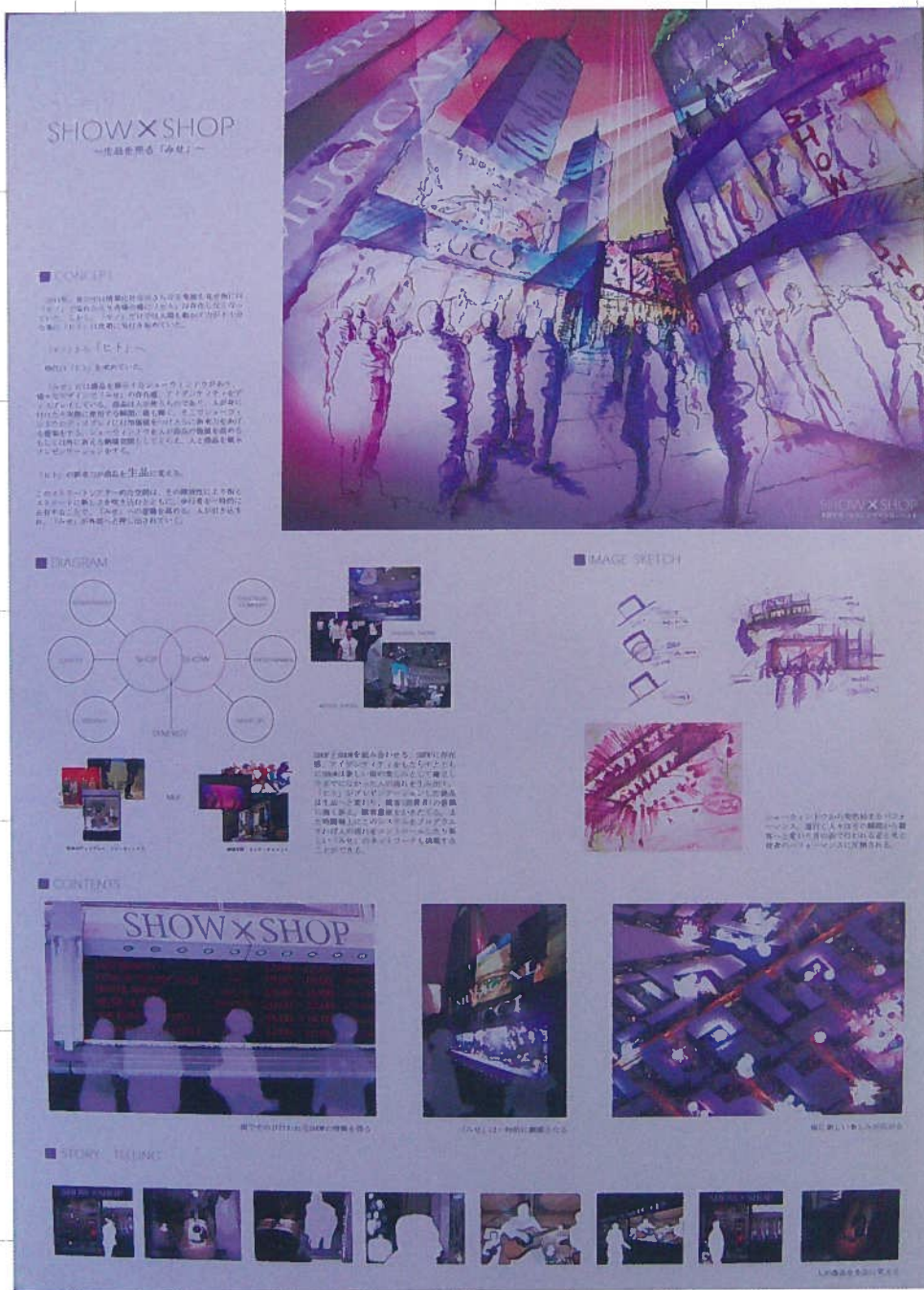
情報社会の目的は、より豊かな人と人とのコミュニケーションであったが、それが途中で目標がずれ、物質的な世界にのめり込んで行った。

キーボードとマウス、ポータブル電話による情報ネットワークによって、人の心と顔が見えなくなったいま、改めて「みせ」を問いただしてみたい。

若者達、学生という視点からの、大きな夢と主張を私達は大切にしたいと思う。

社団法人 商業施設技術者・団体連合会  
会 長 豊 口 協

# 最優秀賞



**吉田真司**

千葉大学大学院  
 自然科学研究科  
 都市環境システム専攻  
 第1学年

20XX年、世の中は情報化社会がさらなる発展を見せ街には「モノ」で溢れかえり市場の場に「ヒト」は存在しなくなっていた。しかし、「モノ」だけでは人間を動かす力が不十分な事に「ヒト」は次第に気付き始めていた。

「モノ」から「ヒト」へ

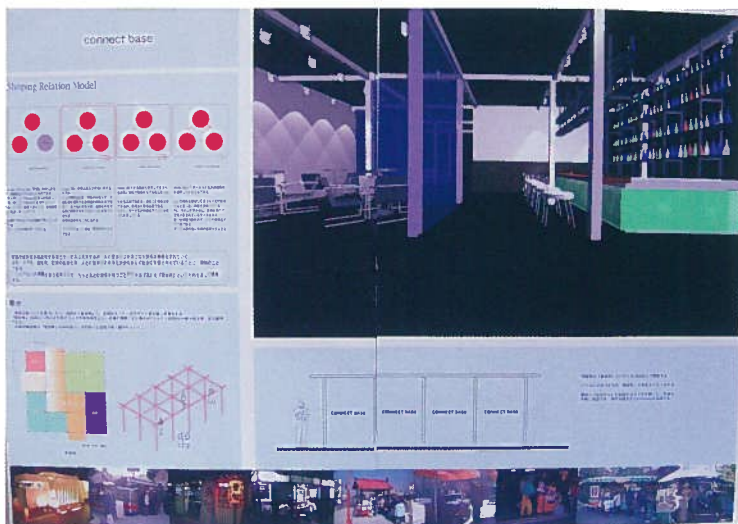
時代は「ヒト」を求めている。

「みせ」には商品を展示するショーウィンドウがあり、様々なデザインで「みせ」の存在感、アイデンティティをディスプレイしている。商品は人が使うものであり、人が身に付けたり実際に使用する瞬間に最も輝く。そこでショーウィンドウのディスプレイに付加価値をつけ、さらに訴求力をあげる提案をする。ショーウィンドウを人が商品の価値を高めるもしくは外に訴える劇場空間としてとらえ、人と商品を展示プレゼンテーションする。

「ヒト」の訴求力が商品を生品に変える。

このストリートシアター的な空間は、その開放性により街とストリートに新しさを吹き込むとともに、歩行者を一時的に占有することで、「みせ」への意識を高める。人が引き込まれ、「みせ」が外部へと押し出されていく。

# 優秀賞



岡田 敦

大阪モード学園  
インテリア学科 3年

# 優秀賞

## M-Plaza

駅の改札内でも改札外でもない場所で、まちの魅力を主張する店たちが集まった空間  
～ICカード・改札システムの応用方法の提案～

Concept M-Plazaとは  
改札内でも改札外でもない、中間の場所。  
ここでは、既存の空間とは異なるドラマ・可能性が  
発展される。

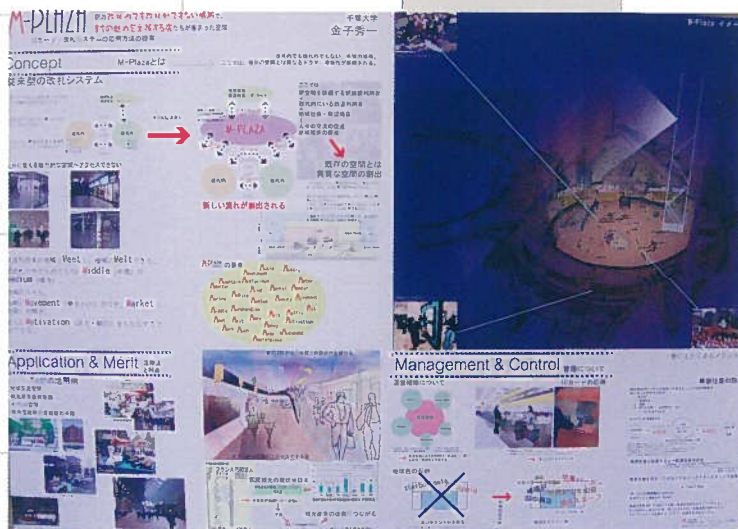
「M-PLAZA」という概念を切り口に、駅をまちに溶け込ませ、まちと駅の活性化をはかる。  
出入りはICカードを利用する（カード購入の斡旋にもつながる）。

つまり、JR東日本の技術である「Suica」に代表されるようなシステムの応用でもある。

このようなシステムなどを応用して、改札内でも、改札外でもない空間を実現する。

鉄道利用者が地域とMeetし、地域にMeltできる、駅改札の外でも内でもないMiddle(中間)のMedium(媒体)。

地域の人々も、気軽にMovement(働きかけ)ができ、Market(市場)を開き、まちにMotivation(活力・動力)をもたらすことができる。



金子 秀一

千葉大学 工学部  
都市環境システム学科 4年

# 優秀賞



須之内 聖

長岡造形大学  
造形学部環境デザイン学科 3年

insist layer

土器は主張しなかったわけではない  
何千年という時間、土の中にその身をおき、自分の存在を主張しつづけたのだ。  
主張するということはけして目立つということではない。  
記憶とは過去に行くにつれ薄れていくもの  
もし土地の記憶というものにカタチがあるならば、そこに  
入る者は、土地の記憶を感じ主張を読み取ることができる。  
過去にある記憶をくみ取り、主張していく場  
過去との対話ができる場・・・  
ここはそんな場所である。  
地層のようにガラスを重ねていき、その中に土器やハニワなどを展示していく。  
一階はまるで土の中にいるように、土の中に情報（土器など）を埋め込みガラスで被う。二階はガラスのレイヤーの中に情報を埋め込む。  
一階から見ると浮いているように見え、これは地下から掘り出したものを未来へという主張でもある。

# 優秀賞

米屋の現状としては、店舗数が減少していて、古びているのが主である。最近リニューアルして米のギャラリーとしてはあるが、米屋という米を売ることを、メインにしている店舗はほとんどない。現在では、米だけではなくパンやパスタなどの麺類が出てきていて、主食としての米が忘れられつつある。だから、そうった事の再認識という事もあり、この店は、米という文字をコンセプトに考えた。米の+の部分（稲）、残りの部分を躯体（穂）と考え、躯体を支えるための土台とした。商品の表現方法は、まず、実際に購入する品物を置き、次に米の実物を木箱に入れ直接触れる事ができるようにし、最後に稲を置いた。ディスプレイ方法として、商品としての米の上又は、下に実際に稲穂を植え、来客者が、米の元来の姿を知る事ができる。ファサードにインパクトを与えるために、アクリルとガラスを用い、そこに生じる空洞に米粒を挿入し、その隙間から光が漏れるようにした。この米のファサードは昼間には、自然光を内部へと透過し、夜間には内部の光を周辺に漏らし、幻想的で美しい空間をつくり出す。



松木 克典

大阪総合デザイン専門学校  
インテリアデザイン学科 2年

# 優秀賞



Piccolo buono tempo (小さい・おいしい・いい時間)

- ・現実から離れ、意空間に入る。
- ・好きな具を追加したり、サイズを選べるので、何通りもの味を何人でも何度でも楽しめる。
- ・ピザ生地を作っている姿、焼いているところが見える。
- ・ピザと言えばイタリア。だからと言って、今時コテコテの店では他の店と変わらない。そこで、イタリアにこだわらない造り。
- ・主なターゲットは 20 代。友人同士でも、恋人同士でも異空間で楽しい雰囲気を食事と共に味わって欲しい。
- ・基本のピザに具をチョイス想像×創造する空間。おいしいと思う気持ちが幸せ・癒しにもなる。

所在地・渋谷駅周辺

店舗面積・168.65㎡ (51.01坪)

営業時間・11:00~14:30 17:00~24:00

客単価・ランチ¥900 ディナー¥2975

ねらい

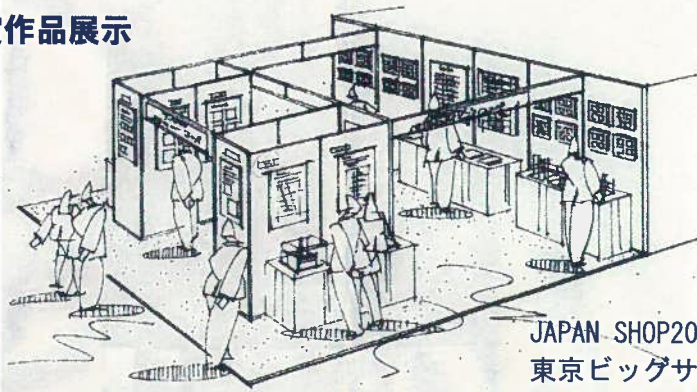
- ・所在地が渋谷(公園道路沿い)という設定で、沢山の人が見て欲しくて、インパクトのある外観にしました。
- ・刺激・新しさを求めたがる若者に、創造・想像をしてもらいたい。
- ・常識を覆したものを、渋谷という場所で老若男女楽しんで欲しいです。

吉村 茉林

青山製図専門学校

商空間デザイン科 2年

## 入賞作品展示



JAPAN SHOP 2004 (店舗総合見本市)

東京ビッグサイト (東京・有明)

平成 16 年 3 月 2~5 日

# 入賞



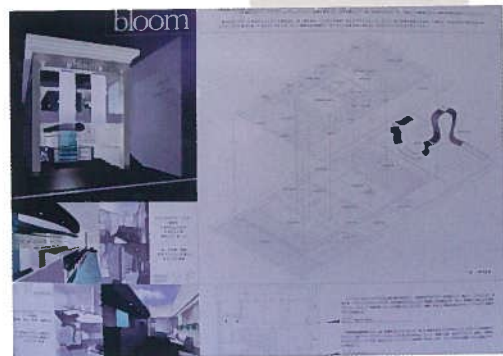
石川 憲一郎  
東北芸術工科大学  
デザイン工学部環境デザイン学科 2年

小林 さやか  
(共同制作: 黒川園子・河野久美子)  
女子美術大学短期大学部  
専攻科



澤本 三恵  
トライデントデザイン専門学校  
インテリア CAD 学科 2年

小松 郁江  
トライデントデザイン専門学校  
インテリア CAD 学科 2年



申 貞姫  
青山製図専門学校  
商空間デザイン科 2年





# 入賞



瀧内 未来

(共同制作：田中美遠・大垣友紀恵・原山聡子)

千葉大学 自然科学研究科  
都市環境システム学科 1年

友村 元香

国際デザイン・ビューティカレッジ  
インテリアデザイン科 2年



真子 沙織

トライデントデザイン専門学校  
インテリアCAD 学科 2年



宗石 光矢

国際デザイン・ビューティカレッジ  
インテリアデザイン科 2年



吉岡 哲平

大阪モード学園  
ファッションインテリア学科 3年

# 特別賞



社団法人北海道商業施設技術協会 賞

小野寺 ひさの

千葉大学工学部  
 都市環境システム学科 2年

東陶機器株式会社 賞

吉 川 香二郎

広島工業大学  
 環境学部環境デザイン学科 3年



日軽アーバンビルド株式会社 賞

若 勇 昌 邦 (共同制作: 長谷川一樹)

日本デザイナー学院  
 インテリアデザイン研究科



スガツネ工業株式会社 賞

武田 桃子

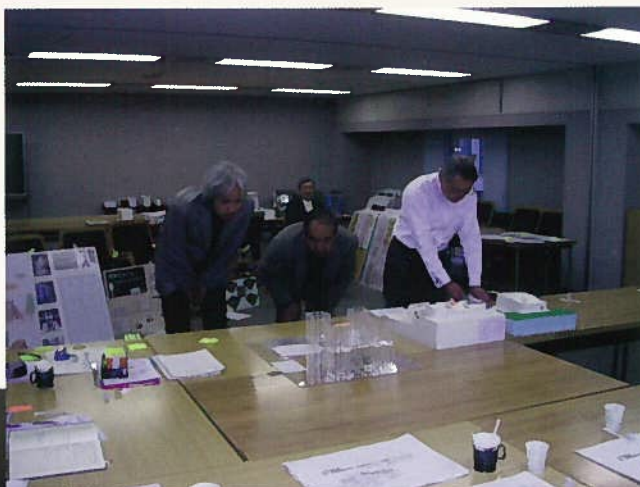
(共同制作:  
 河野光恵・南部 元・渡辺玲奈)

千葉大学 工学部  
 都市環境システム学科 4年



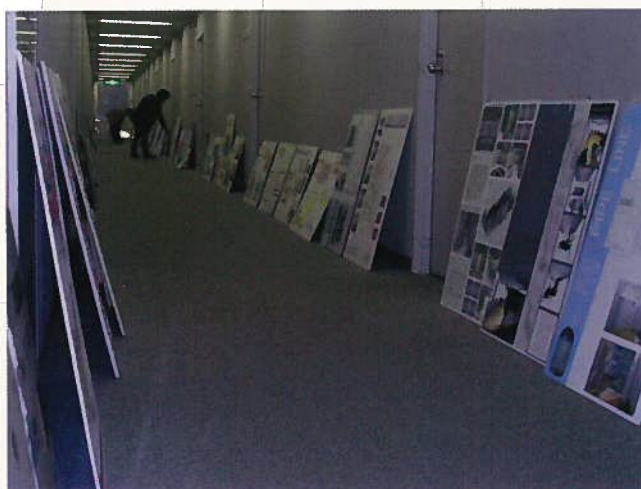
●本審査

平成 16 年 2 月 2 日(月)  
建築会館 3 階・302-303 会議室  
豊口 協・柘植喜治・小坂 竜



●予備審査

平成 16 年 1 月 24 日(土)  
建築会館 4 階・(社)商施連事務局前廊下  
斉藤武行・松本弘志・石渡強治・立原俊郎



参加者

北海道大学  
廣岡拓朗  
土谷有香  
佐々木菜那  
青石澤永理  
金山綾子  
宇田川善将  
中山竜一  
小原知恵  
横山真知子  
羽広雄太  
山川佳那子  
川合佑佳  
生田有里  
酒井奈かり  
金山晋平  
堀内葉子  
堤恭子  
稲場さやか  
北海道芸術専門学校  
稲野剛紀  
木藤詩子  
紺野勝雄  
深川雄司  
上村恵美子  
中村麻里子  
増永比奈美  
明田川恵美  
阿部淳育  
大山加藤  
加藤和南  
上谷修平  
長根山沙織  
札幌デザイナー学院  
鹿内麻梨亜  
山森斗斗  
稲崎敏邦  
金平果美  
佐藤川美紅  
中藤田早紀  
松井恵貴  
森村紗子  
米村佳代

東北工業大学  
伊藤甚哉  
伊藤由美  
藤藤茉莉花  
菅竜太  
鈴木彰  
山田直美  
荒井恵理  
小野寺純  
近野美香  
佐々木麻里奈  
田中浩子  
松田幸恵  
八山鎌佳  
八山和磨  
仙台デザイン専門学校  
加川大輔  
池谷麻美  
甲谷春奈  
佐藤典昌  
下島貫和  
高橋宜進  
千奈良坂  
長谷川宗兆  
布田由香  
星川勇氣  
松田悠平  
藍原宏文  
荒井理江  
黒沼美希  
志賀亜矢子  
東北芸術工科大学  
石川憲一郎  
内山恵太  
今野聡子  
文化学院芸術工科大学  
磯部弘司  
磯崎由香  
青木秀一  
上野寛美  
上野仁美  
小澤元生  
池崎奈紗  
沼池慈菜

照山桂  
杉山亮  
蛭田幸子  
齊藤勝也  
永田あゆみ  
山田あゆみ  
岡田知明  
佐藤大教子  
千葉大学  
吉田真司  
金子秀一  
瀧内来遠  
田中未美  
大垣友紀  
原山聡子  
武野桃光  
河野元恵  
南部玲奈  
渡辺ひさの  
小野寺貞姫  
青島製図専門学校  
申原達也  
柳澤有子  
吉村茉莉子  
若山恭子  
日デザイナー学院  
若勇昌邦  
長谷川一樹  
阿佐美友子  
中央工学校  
丹内優子  
高野雄造  
山川敦敦  
町田デザイン専門学校  
小林美恵子  
小林佳昌  
女子美術大学短期大  
小林さやか  
黒川園子  
河野久美子  
神奈川県立産業技術短期大学校  
榎本澄枝  
長岡造形大学  
松永哲二  
岡岡真理  
高野絢子  
須之内聖

名古屋女子大学  
篠木美佳  
トライデントデザイン専門学校  
小野理沙  
海藤洋代  
鹿角幸郁  
小松隆央  
今山崇好  
坂田三恵  
澤本山幸祐  
杉竹万三子  
西本三佐子  
馬場友栄  
工藤井里衣  
櫻々木麻里衣  
佐々木友紀  
中西裕美  
原府子  
別府美沙  
真子昭子  
溝口千絵  
山本貴子  
若山雅人  
渡辺将司  
名古屋デザイナー学院  
桑山孝一  
中央実務専門学校  
村上博将  
長谷川寛明  
永井久恵  
佐々木麻里  
笹岡ゆかり  
大阪モード学園  
梅屋和彦  
手塚和宏  
川口紘司  
吉加藤哲平  
和田光穂  
岡田茜敦  
大阪総合デザイン専門学校  
松木克典  
宮啓子  
藤村文子  
南未来

広島工業大学  
吉川香二郎  
国際デザイン・ビューティカレッジ  
畔元志保  
冲雅規  
岡崎優か  
神田勇気  
合松智美  
小白朋朋  
戸田元香  
友村裕也  
野瀬真弓  
野村真光  
宗石奈保  
森下舞夏  
近畿大学  
那須舞夏  
九州デザイナー学院  
竹下一帆  
日本デザイナー学院  
深江あゆ  
大瀬貴生  
森寛貴  
宮大悟  
野中真裕  
平好伸  
三田理恵  
黒水亜紗子  
菊上健一  
村上健博  
要戸勝真  
澤和友  
越野麻衣  
脇岡佳弥  
春村川美真  
伊村慎也  
石川健太郎  
田中新一  
石野彰信  
尾崎達弥  
井手脇和也  
岡田俊明  
九州東海大学  
神谷英子  
武谷史子

# 表彰式



# 主張する「みせ」デザインコンテスト

申請(エントリー)

平成 15 年 9 月 24 日～平成 15 年 11 月 17 日

作品応募

平成 15 年 12 月 1 日～平成 16 年 1 月 20 日

審査発表

平成 16 年 2 月 5 日

表彰式

平成 16 年 3 月 2 日